



第7回たっこにんにく収穫祭「にんにく収穫体験をする親子」

田子町 議会だより

2018



第96号

平成30年8月23日発行

青森県田子町議会

目次

にんにく収穫祭	2
一般質問3議員	6
教育懇談会	10
現地視察	12
研修会／視察訪問	13
ひと言インタビュー	14

第7回 田子にんにく収穫祭

にんにく収穫祭

平成30年6月23日と24日の2日間にわたり、第7回田子にんにく収穫祭が開催されました。田子にんにく収穫祭は、「たっこにんにく」にちなんだイベントを開催し、消費拡大とその生産振興、併せて地域の特産品として販売促進をはかりながら幅広く交流を深め、地域の活性化を図ることを目的としてスタートしました。県内外からたくさんの方が訪れ、催しや体験、田子にんにくと田子牛をふんだんに使った「関所のかっちゃん特製！田子牛にんにくカレー」など、様々なおいしい「食」を堪能し子供から大人まで幅広い年代から笑顔があふれ、収穫祭を楽しんでいました。

にんにく収穫体験／舞台イベント

田子会場・関会場と2カ所にて、にんにく掘り取り体験が行われました。両日とも天気にも恵まれ、畑一面には太く背の高い葉が顔を出し力いっぱい引き抜くと、ぶつくりと大きいくずつしりとしたにんにくが飛び出します。親子連れやおじいちゃん・おばあちゃんと一緒に掘ったにんにくの大きさを競い合い、抜いた勢いでにんにくと

一緒に転んだりと笑い声が絶えません。会場にはガールリックレディや他市町村からゆるキヤラたちも集まり子供たちも大喜びで、掘りたてのにんにくと一緒に写真撮影をしたり大きなにんにくを求め畑を一緒に散策したりと、また来たいと思う会場でした。

ステージでは来場者と一体になりイベントを盛り上げていました。

田子神楽保存会により

ます傘舞・盆舞・番楽は伝統的なお囃子と見ている人々を引きつける舞で観客席からは歓声が上がっていました。太鼓が響きわたり歌い手と踊り手による、しなやかなナニヤドヤラは地元住民なら一緒に踊りたくなります。そして、かわいく愛嬌抜群



田子神楽保存会

会場には様々な食べ物や飲み物・スイーツが軒を連ね、にんにくを効かせた匂いが来場者の食欲をそそり、にんにくの素揚げ・田子豚のケバブをはじめ、ピザや焼きそばと一口食べると口いっぱい広がるにんにくの香りを楽しんでいました。

(澤口 勝)



収穫を楽しむ来場客

群の園児によるダンスは見ているこちらも穏やかな気持ちになり、子供たちの人気者ゆるキヤラたちとジャンケン大会や○×クイズなど小さい子供でも楽しめるような触れ合い、様々なアーティストによる美しい歌声や息をのむほどのパフォーマンス等、イベント成功のカギともいえました。



田子豚ケバブ

様々な飲食店

第2回定例会

定例会のあらまし

平成30年第2回定例会が6月12日(火)から平成30年6月15日(金)までの4日間の会期で開催されました。

12日には諸般の報告・議案が上程・説明されました。

13日の一般質問には、3名の議員が登壇し、多岐にわたり活発な議論を交わされました。14日は議案熟考の為に休会。

15日には清水頭小学校体育館、オリジナル品種育種ほ場を現地調査し、議案の審議、採決が行われました。

田子町消防委員

田子町消防委員会委員を3名の方に委託したいので、田子町消防委員会条例第五条の規定により議会の承認を求め、承認される。

※田子町消防委員会とは？

・田子町における消防組織の強化体制を確保し、消防行政の円滑な運営を図るため、設置している。

・消防団に関する重要な事項について町長の諮問に答え、又は町長に建議すること。

・消防団員の服務待遇及び消防施設の改善その他消防に関して町議会に建議すること。

・火災、風水害、地震などの災害に対する危機管理体制について町長の諮問に答え、又は町長に建議すること。

主な補正予算

平成30年度田子町一般会計補正予算(第2号)

・歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6268万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ52億4441万7千円と定める。

平成30年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

・歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ32万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億5628万円と定める。

平成30年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

・歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ14万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入

歳出それぞれ10億464万円と定める。

平成30年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)

・歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ429万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億3129万8千円と定める。

陳情の付託

日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し国会が批准することを求める陳情書が提出され、審議の結果、総務・文教常任委員会へ付託されました。

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書については、資料配付となりました。

第1回臨時会

平成30年5月8日に平成30年田子町議会第1回臨時会が開催されました。報告第1号及び議案第36号が上程され、原案承認、可決となりました。

・報告第1号：専決した事件の承認について(田子町町税条例等の一部改正)

主な内容は町民税、固定資産税、たばこ税について。

・平成30年度田子町一般会計補正予算(第1号)について

主な内容は清水頭小学校体育館改修工事設計管理委託、清水頭小学校体育館改修工事について。



田子町議場

6月定例会では、条例改正や補正予算等
11件の議案と2件の報告が提出され審議しました。
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告第2号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会平成30年度事業計画並びに平成29年度事業報告及び決算について	原案承認 (賛9・否0)
※田子町にんにく国際交流協会とは、町や関連機関と連携し、にんにく産業の振興と国際交流の推進を図り、地域の活性化を方針とし本年度は米国ギルロイ市と30周年をむかえました。		
報告第3号	公益財団法人にんにくネットワーク平成30年度事業計画並びに平成29年度事業報告及び決算について	原案承認 (賛9・否0)
※にんにくネットワークとは、テレビの難視聴地域である田子町において、様々な情報を提供することにより、地域情報を促進、文化や産業の育成・発展生活の質と住民福祉の向上並びに国際感覚の涵養に寄与する為の事業を行っている。		
議案第37号	田子町集会施設等特別改修事業分担金徴収条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
※集会施設の改修工事において、過疎対策事業債の適用、運用の実態に即した所要の整備を行うための条例改正。		
議案第38号	田子町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
※高齢者の医療の確保に関する法律改正に伴い、住所地特例に係る関係規定の所要の整備を行うための条例改正。		
議案第39号	田子町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
※平成26年厚生労働省令第63号「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」が見直されたことに伴い、放課後児童支援員の基礎資格等に関する所要の整備を行うための条例改正。		
議案第40号	田子町介護保険条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
※介護保険法施行令の改正に伴い、第1号被保険者保険料の減額賦課に関する所要の整備を行うための条例改正。		
議案第41号	田子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決 (賛9・否0)
※タブコピアンプラザ改修事業を実施するにあたり、本計画に新たに追加するため、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定に基づく変更。		
議案第42号	田子町消防委員会委員の承認について	原案可決 (賛9・否0)
※平成30年4月1日に、学識経験者として委員であった三八上北森林管理署田子森林事務所、地域統括森林官及び三戸警察署田子駐在署長が異動となったこと、また、5月31日に消防関係者として委員であった田子町消防団副団長1名が退団したことに伴い退任。		

審 議 結 果

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第43号	平成30年度田子町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決 (賛9・否0)
<p>※歳入補正の主なものは、国庫支出金へ民生費負担金として、繰入金へ基金繰入金を追加。国庫支出金から農林水産業費補助金と土木費補助金により、諸収入から農林水産業費貸付金元利収入と雑入により、町債から農林水産業債と土木債により減額。</p> <p>歳出補正の主なものは、人事異動に伴う給与費、総務費へ国際交流事業として、民生費へ介護保険事業勘定特別会計繰出金として、衛生費へ診療所・老健施設特別会計繰出金として、農林水産業費へべっぴんな売れる商品づくり推進事業とCA冷蔵庫等管理費として、土木費へ宮野獅々内線整備事業として、教育費へ中学生海外派遣事業として追加。また、農林水産業費から山のみち地域づくり交付金事業を、土木費から橋梁補修事業を減額しております。</p> <p>以上の結果、歳入歳出の総額からそれぞれ6268万3千円を減額し予算の総額をそれぞれ52億4441万7千円とする。</p>		
議案第44号	平成30年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	原案承認 (賛9・否0)
<p>※歳入補正は繰入金から一般会計繰入金により減額。一方、支出補正では、人事異動に伴う給与費を減額。</p> <p>以上の結果、歳入歳出の総額からそれぞれ32万円を減額し予算の総額をそれぞれ9億5628万円とする。</p>		
議案第45号	平成30年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	原案承認 (賛9・否0)
<p>※歳入補正は、繰入金に一般会計繰入金を追加。介護保険料から第1号被保険者保険料を減額。一方、歳出補正では人事異動に伴う給与費を追加。</p> <p>以上の結果、歳入歳出の総額に、それぞれ14万円を追加し、予算の総額をそれぞれ10億464万円とする。</p>		
議案第46号	平成30年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）について	原案承認 (賛9・否0)
<p>※歳入補正は、繰入金に、一般会計繰入金により追加。一方、歳出補正では人事異動に伴う給与費と介護老人保健施設・施設管理を追加。</p> <p>以上の結果、歳入歳出の総額に、それぞれ429万8千円を追加し、予算の総額をそれぞれ4億3129万8千円とする。</p>		
議案第47号	工事請負契約の締結について	原案可決 (賛9・否0)
<p>※タブコピアンプラザ空調設備改修工事について、請負契約を締結するにあたり、入札執行した結果を踏まえ「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定に基づき議会の議決をお願いするもの。</p>		

にんにく収穫祭

定例会／審議

一般質問

議会活動報告

懇談会／研修会

現地視察

研修会／視察

一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。6月定例会では議員3人が一般質問を行いました。



議員 夫則端 欠

消防団員の確保と整備品について

【質問1】

人口と同じで最近では消防団員数も減少していると思われるが20年位前と現在の団員数の変化と年齢構成はどうなっているか。

【町長答弁1】

20年前の消防団員数は261人で、今年度4月1日現在では252人です。年齢構成につきましては、今年度4月1日現在で20歳代は40人・30歳代は60人・

40歳代は83人・50歳代は46人・60歳代は23人となっております。

【質問2】

火災だけではなく様々なことに出勤しているが、ここ1〜2年の火災出勤回数は何回位か。

【町長答弁2】

平成28年度は、火災出勤1件、水害出勤2件、捜索出勤1件、平成29年度は、出勤5件、

水害出勤2件、でありました。ここ数年の出勤状況については横ばいの傾向にあります。町防災体制の中で消防団の果たす役割は大変重要である。

【質問3】

活動をしやすいとするため、装備もいろいろ考えていると思うが、個人への貸与、支給品はどのような物があるか。

【町長答弁3】

個人への貸与につきましては、活動服一式半纏、安全靴また、本団員、ラップパ隊、女性消防団員にはそれぞれの制服も貸与している。個人への支給品はございません。

【質問4】

人員確保のためにどのようなことを考えているか。

【町長答弁4】

消防団員の減少や高齢化が進んでいくことが予想されることから、街頭活動での消防団員募集チラシの配布や、役場職員への積極的な勧誘、各分団での個別勧誘活動を行っているところであります。

イノシシの被害防止と箱わなについて

【質問1】

今年の冬、運動に歩いてきた人がイノシシを見た。数も数えて大小合わせて12頭いたという。このことについて町としては、頭数が少ないとみるか、多くなってしまうかとみるか。

【町長答弁1】

今回目撃された12頭がすぐに増えることが予想されます。他県からも流入してくることが想定されるので、これから益々多くなっていくことが懸念されます。そのため、被害防止に努めたい。

【質問2】

新聞に国が箱わな(パソコンと連動して捕獲

する)に助成を出して自治体に普及させようとしているがなかなか進まないといった。この制度を利用して当町または他町と合同で箱わなを確保する気はあるか。

【町長答弁2】

現時点で目撃情報は田子町だけであるため他町との合同での導入については、合意を図ることが難しいと考えておりません。しかしながら、農作物被害の拡大が想定されますので、必要に応じて箱わなの導入を図ってきたい。





沢口博二 議員

害獣について

【質問1】

イノシシの目撃情報があるが、町はどの程度把握しているのか。

【町長答弁1】

町民から、県への通報があり、川代地区にて13頭が目撃され、30年4月18日付で、県では、全市町村に、注意被害対策の周知がされている。



箱わな

【質問2】

猟銃免許取得者は何人いるか。

【町長答弁2】

猟友会20名のうち18名が猟銃免許を、2名がわな免許を取得しております。

【質問3】

猟友会そのものへの支援制度はつくれないか。

【町長答弁3】

平成29年度から、農作物被害対策事業として、事務費10万円、射撃講習会参加費として14万3千円を支援しております。

職員採用について

【質問1】

人口減少の中、職員数、その職務内容について、真剣に検討すべきではないか。

【町長答弁1】

人口減少にあわせ、職員も徐々に減少しておりますが、職務の複雑・高度化に伴い、一定数の職員は必要と考えております。

【質問2】

社会人枠の意義・狙いは何か。その効果は出ているのか。

【町長答弁2】

意義・狙いは、民間

企業での経験を生かし、即戦力となる人材が確保できること、効果として、サービス向上、人材育成期間の短縮等効果があつたと考えております。

【質問3】

田子高校生を優先的に採用することはできないか。

【町長答弁3】

国からの通知により、受験者の平等取り扱いに留意するようにと達しがあるが、願いとしては多くの田子高校生に受験していただきたい。

道の駅について

【質問1】

アンケート効果は、町民にどのようにならしめるのか。

【町長答弁1】

ケーブルテレビの活

用、道の駅構想概要版の全戸配布頭、きめ細やかな情報提供と説明を行つて参ります。

【質問2】

建設費・運営費のめどは立っているのか。

【町長答弁2】

現在、調査・準備段階となっております。

【質問3】

土地の買収を先行させる必要はあるのか。収支の試算検討を先にするべきではないか。

【町長答弁3】

補助事業の活用上、土地造成・用地確保が必須要件であり、収支も同時進行で協議を進めていく考えです。

【質問4】

運営主体としてJ.Aの協力を得る考えはないか。

【町長答弁4】

選択肢としてそれも

ありますが、総合的な視点から比較検討してまいります。

【質問5】

町の農・商工業へ多大の影響を与える本構想に基づき、もつと時間をかけ、じっくりと取り組むべきではないか。

【町長答弁5】

平成25年度から、六次産業化の取り組みをしてきており、町の活性化の起爆剤として、道の駅早期実現を図り、雇用創出、経済の活性化を旨とす考えです。



にんにく収穫祭

定例会／審議

一般質問

議会活動報告

懇談会／研修会

現地視察

研修会／視察



尾形憲男 議員

公共施設整備 について

【質問1】

町内の各種施設は老朽化が進み、改修に予算の増加が見込まれるが長寿命化の方針・建て替えの条件・財源の目的の計画を示せ。

【町長答弁1】

平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定。計画的に補修などを行い長寿命化を図りながら管理していく。財源は、地方債を活用、出来ない場合は、公共施設整備基金の繰入。

公共施設整備基金積立額は。

【町長答弁2】

28年度末3億2300万円。29年度決算期では、2億8395万で4千万の減。今年度の取り崩し予定額は9千万円。残高は、1億9315万円

行政機構について

【質問1】

課の新設を行った。どのような効果を狙ったものなのか。今後考えているものがある

か。職員の配置で不具合や定数、採用に偏りが出ているのではないか。

【町長答弁1】

高齢者への支援活動を進めてきた。子育てや、障害や病気など、高齢者以外の人が抱える問題も増えてきた。これに対応し全ての町民が相談できる窓口として新設した。現在は結構機構改革は考えていない。職員の配置では、診療所事務長を総務課長が兼務、産業振興課農業振興グループリーダーを産業振興課長が兼務。管理職としてのスキル向上を図り適正配置ができるよう努める。10年間の職員数は17人減。今年度の新採用者は、専門職の社会福祉士及び管理栄養士を含み9人の採用。31年度以降は、定員適正化計画を策定し、適正な職員採用に努める。

【質問2】

兼務の理由は。

【町長答弁2】

採用に偏りがあった事が一番の原因。年代別に空白があり50代が少なく、課長やグループリーダーに上げるには気の毒で、もう少し経験を積みスキルアップしてほしい。名札を与えるだけでなく、名実ともに育ってほしい。その関係上、兼務で頑張っていたきたい。

人口減少に対応した 施策について

【質問1】

少子化対策の効果、検証を行い近隣町村との比較をし拡充の必要性を感じているか。産みやすい、育てやすい施策や教育に対しての施策については、田子高校の対策は拡充されているが、その他につ

いては薄く感じられる。

【町長答弁1】

産みやすい施策、子供医療費助成事業、保育料軽減事業。育てやすい施策、入学祝金事業、学童保育、子育てサロン。教育についての施策、奨学金貸与事業、青少年海外派遣事業。三戸郡内の町村の事業と見比べると充実している。

【教育長答弁】

特に田子高校には様々な支援や補助を実施している。奨学資金の制度改正を行った。町を支える人材として活躍して欲しく効果のある施策等を検討する。

【質問2】

町外の高校に行った子にも医療費の支援をお願いしたい。

【町長答弁2】

田子高校を残したい。全対象には、奨学金程度に留めたい。

住宅、空き家対策 について

【質問1】

次世代の町定着に住環境の整備は欠かせない。空き家のリフォームや住宅の建て替えに一定の補助を。

【町長答弁1】

金融機関の空き家利活用ローンを利用する場合、利息の2分の1を助成。空き家の賃貸住宅化を促進、リフォーム費用の一部助成を検討中。

【質問2】

新築に対しての補助は。

【町長答弁2】

新築に対して工事費の60万を建設課の事業もしくは利息の半分、税金の半分を住民課の助成事業がある。

議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会への参加、先進地視察を行っています。

協議

○実施日 4月26日

平成30年第1回臨時議会の議事日程について協議

○実施日 5月25日

平成30年第2回定例会の議事日程について協議

議会広報編集委員会

○実施日 4月9日

議会だより第95号の内容の最終確認と発行日程について協議

○実施日 5月24日

町村議会広報研修会に参加

○実施予定

6月定例会以降に次回発行の日程やレイアウト等について協議

議会だよりとは について協議

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長
日沢一雄委員 砂子田康雄委員 澤口勝委員

協議

○実施日 5月7日、8日、16日

町と合同で中学3年生の保護者を対象とした「教育に係る懇談会」を開催

事務事業調査

○実施日 5月15日

【教育課】

清水頭小学校体育館改修、上郷公民館空調機施設等整備、給食センター1屋根外壁塗装改修の状況報告があり、補正予算では中学生海外派遣の拡充を図るため計上することのこと。

【総務課】

消防・防災行政について、自主防災会は20組織で自主防火隊の5組織を加えた25組織がある。世帯カバー率は県平均を上回るが、全国レベルではまだまだ低いので、今後も設立に向けて努力していくこと。

【政策推進課】

地域おこし協力隊については、移住の促進隊員や、たつこにんにくの振興に関する活動隊員を募集していたが採用に至っていないことから、募集内容等を見直し引き続き募集すること。

【住民課】

地域公共交通については、コミュニティバスの利用状況が報告された。委員会からは、利用客の利便性を考慮し停留所の移転を考慮して頂くよう要望した。

【税務課】

4月末現在の町税・国民健康保険税の徴収率は、昨年度と比較し一般税ではわずかに上回り、国民健康保険税ではやや減少している。

事務事業調査

○実施日 5月17日

【診療所・老健施設】

医師の配置は引き続き2名体制で整形外科、小児科、泌尿器科も昨年度と同様に専門的な診療支援を受けるとのことでした。

【地域包括支援課】

町の特定健診会場として、今年度から清水頭地区の方々には「せせらぎの郷」に変更となるとの説明がありました。委員会では、地域住民の利便性を考慮し、様々な対策を検討くださるよう要望した。

【住民課】

新園舎は、年内に建設と引越し、その後来年3月末までには現在の園舎を取り壊す予定とのこと。学童保育については、委員会から利用料の設定根拠を質問し、後日資料を確認し報告することのこと。

【建設課】

世紀越えトンネルを含むパイパス整備の具現化について説明があり、委員会からは、中本町地区の国道の歩道整備状況について質問し、県において本年度対応することのこと。

【産業振興課】

たつこにんにく等の振興開発について説明があり、オリジナルの生育状況は昨年よりも良く、6月下旬の収穫を予定している。また、道の駅については、アンケートや関係団体等からのヒアリングを行っているが基本構想と基本計画を策定したとの説明があり、今後は施設の内容・規模・運営形態について協議を進めるとのことでした。

【農業委員会】

農地移動のあった件数と面積についての説明がありました。

新園舎、年内に 建設と引越し

産業・民生常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長
蹴揚清人委員 沢口博二委員 欠端則夫委員

にんにく収穫祭

定例会／審議

一般質問

議会活動報告

懇談会／研修会

現地視察

研修会／視察

総務・文教常任委員会視察研修報告

5月7日・8日・16日に、田子町議会の常任委員会である総務・文教常任委員会が町の教育に係る懇談会へ参加しました。田子高校の入学者確保を目指し、保護者と意見交換をしました。

上郷公民館

○実施日 5月7日

出席されましたのは町長、議会総務文教常任委員、教育長他教育委員会関係者、田子高校教諭等でした。保護者の方は5名出席がございました。最初に懇談の趣旨説明があり、町側の高校支援等の内容の説明があり懇談に入りました。いずれもまだ進路が決まっていない子供が多く、また親と進路について話す機会が無いと言うのが多かったと思う。支援策についても内容をき



中央公民館

○実施日 5月8日

田子高校後援会主催による教育懇談会に参加いたしました。本懇談会は、田子高校の存続を視野に入れた町の取り組みや、現時点での助成のあらましを田子中3学年保護者を対象に説明し、田子高校への進学を検討しても

ちんと把握していない様子でありました。親はいずれにせよ子供の進路については最優先で考えたいという事のように感じました。田子高校の教諭からも田子高校のPRをして戴きました。総務文教常任委員からも、これから手厚い支援策を活用しながら、何としても田子高校存続をクリアしてまいりたいと考えて居ります。

中央公民館

○実施日 5月8日

田子高校後援会主催による教育懇談会に参加いたしました。本懇談会は、田子高校の存続を視野に入れた町の取り組みや、現時点での助成のあらましを田子中3学年保護者を対象に説明し、田子高校への進学を検討しても

らうべく町(町長)、教育委員会、教育振興会、中高PTA・教員、議会総務常任委員会、関係者各位の総参加のも行われました。県による県立高校再編第一期計画によれば、※「地域校」と認可するもの入学者減により募集停止・廃校に向けての協議を進めることとされておられ、我が町としては是が非でも存続に向けた施策を早急に打ち出し、教育環境の保全と共に小中学生や保護者の意向を調査して最善の取り組みへ一日も早く着手すべきと感じました。議会全体においても引き続き当案件を最重要案件として調査・研究を重ねてまいります。

中央公民館

○実施日 5月16日



県立田子高校存続を目指す懇談会が総務文教常任委員会、町教育委員会と合同による、中学3年生の保護者を招いて開催された。

将来の夢、目標がわからない中で高校進学を選択肢について、迷っている子供が多いとの声が聞かれた。懇談会では、高校から専門・大学進学までの負担についてモデルケースでの説明があり、親は子供の望む気持ちを大事

中央公民館

○実施日 5月16日

にして費用・負担の面でも大変厳しいが支援したい。しかし、負担の少ない学校を選びたい気持ちもある。また、町の支援策については初めて知った、今までよくわからなかった、魅力に思う。との意見があるなかで、子供の願いと費用負担が軽減されることであれば大変助かるといった発言が多かった。また、田子中学校卒業生だけでなく20名確保は難しく、他町村からの入学に向けた取り組みは無いのかとのご意見も出されました。今回の懇談会には何かと多忙の中にもかかわらず、多数ご出席をいただき、子供の進路を考えたいご意見、誠にありがとうございます。田子高校存続と魅力ある学校づくりに反映させて参りたいと思います。

思いです。

全国正副議長研修会／衆議院議長公邸訪問

平成30年5月28日、東京国際フォーラムホールにおいて町村議会議長・副議長研修会が開催されました。「これ

からの町村議会を考える」をメインテーマに、山梨学院大学江藤教授による講話では、議員のなり手不足と報酬額の関係や、住民と考える議員定数、女性議員の比率と報酬の因果関係等、議会・議員の魅力が不可欠であり、そ

の制度改正にあたっては「現場からの提案を尊重すべき」との提言等が数多くなされました。

幸福のためには町民とともに歩む議会が必要、議会が活躍しないでの町の発展はない！とのスローガンは、なる

ほどと共感いたしました。若者・女性の政治参加を必要と感ずるや、限定的に50歳以下の議員報酬を限定的に30万円に引き上げる条例案を提案する等、我が町では到底至らぬである

う視座にも驚嘆いたしました。今後は我々も議会の権能を町民皆様と共に考えていかなければと感じた研修となりました。

私見としましては、我々の活動をもっと町民皆様に見て感じ取っていただき、ケーブルTV・議会広報で紹介していない多くの公務内容を含め、住民懇談会等でお示ししていきながら、議員報酬の多寡を判断していただければ幸いと思う次第です。

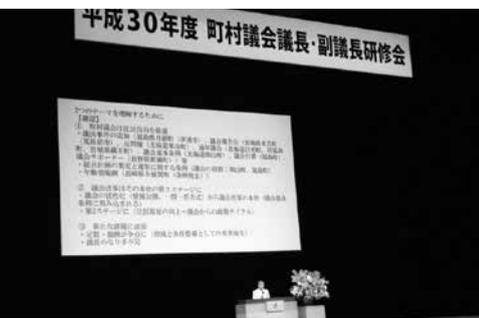
次に全国の優良町村議会表彰を受賞した長崎県小値賀町議会の取り組みについて研修いたしました。「小さな町議会の小さな挑戦」と題して真の活力ある議会づくりとはどういったものであるか「町の

幸福のためには町民とともに歩む議会が必要、議会が活躍しないでの町の発展はない！とのスローガンは、なるほどと共感いたしました。若者・女性の政治参加を必要と感ずるや、限定的に50歳以下の議員報酬を限定的に30万円に引き上げる条例案を提案する等、我が町では到底至らぬである

う視座にも驚嘆いたしました。今後は我々も議会の権能を町民皆様と共に考えていかなければと感じた研修となりました。

続いて福岡県大刀洗町議会では、「住民に向き合った議会運営」のため、住民に傍聴する機会を増やすための休日議会の開催や、徹底的な討論を行える自由討論制の導入、女性や若者と意見交換できる

モニター制度の導入など住民と向き合った議会改革に取り組んでおられました。最後の徳島県那賀町議会では、住民から期待される議会を目指して、通年議会制の導入や議員のなり手不足解消のため、若手議員に対する議員報酬の検討を行っておられました。今後田子町議会でも、これらの先進的な事例を参考に、更なる研修、議論を踏まえ、住民と共生できるように議会改革に取り組んで行きたいと感じた研修会でした。



次いで全国の優良町村議会表彰を受賞した長崎県小値賀町議会の取り組みについて研修いたしました。「小さな町議会の小さな挑戦」と題して真の活力ある議会づくりとはどういったものであるか「町の

幸福のためには町民とともに歩む議会が必要、議会が活躍しないでの町の発展はない！とのスローガンは、なるほどと共感いたしました。若者・女性の政治参加を必要と感ずるや、限定的に50歳以下の議員報酬を限定的に30万円に引き上げる条例案を提案する等、我が町では到底至らぬである

う視座にも驚嘆いたしました。今後は我々も議会の権能を町民皆様と共に考えていかなければと感じた研修となりました。

翌日は衆議院議長公邸を訪問し、大島衆議院議長と懇談をして参



にんにく収穫祭

定例会／審議

一般質問

議会活動報告

懇談会／研修会

現地視察

研修会／視察

総務・文教常任委員会合同視察

清水頭小学校体育館改修工事



昨今我が町の公共施設が比較的規模の大きな改修、更新の時期を迎えております町が現在唱えている「長寿命化」というフレーズをお耳にしている町民の方も多かろうと思いません。いかに経費を掛けずその建物の寿命を延ばさせるか、非常に大切な取り組みです。町内の各小中学校も多分に漏れず、建物内の壁床の痛みや下足箱・手すりとの老朽化が目立ちました。現在清水頭小学校体育館では雨漏

れがひどく、本年改修工事に着手します。各委員からは工事中の生徒達の不便の解消と早期の工事完了を求める意見が出され、教育課からは代替施設として中央公民館の開放や、教育委員会の丁寧な対応で工事完了まで不備・滞りなく進めるとの回答がなされました。安心・安全な環境作りへ常日頃から対応する気構えでありたいと思いを新たにいたしました。

(宇藤大介)



産業・民生常任委員会合同視察

オリジナルにんにく増殖圃場

6月15日、両常任委員会合同で2次増殖圃場の現地を視察した。

現地は、昨年の視察時と比べると生育状況は、良好に感じた。現地で産業振興課にんにく振興室白板室長より説明を受けた。

イモグサレセンチュウの予防対策として、堆肥、肥料等の散布、施用後に「キルパー」による土壌消毒を実施。

作業内容は次のとおり。
土壌消毒 8月31日～9月10日。植付作業 9月20日～10月5日。防除作業 10月2日、10月10日、4月13日。芽出作業 1回目 10月10日から10月20日、2回目 11月1日～4日、3回目 4月12日～14日。とう摘み作業 6月4日～6日、6月14日。

今後の予定、収穫予定 7月1日。乾燥施設見守り業務を(株)ピーエムに委託。分譲予定

を9月3日～6日(29ドーム)

圃場番号4が生育状況が悪かった以外は概ね良好。その為4の圃場には来年植え付けないほうがいいと思った。収穫時期が迫っており天候が気になる。管理が行き届くことを希望し現地視察を終えた。

(尾形憲男)

美六姫



町村議会広報研修会 広報クリニック

さる5月24日、青森市の労働福祉会館にて「町村議会広報研修会」に尾形委員、事務局3名と自分の計5名で研修に参加して参りました。

今回の講師はグラフィックデザイナーの長岡光弘氏でプログラムは2部構成になっておりまして第1部、「読まれる議会だよりの編集と表現ポイント」、第2部、「議会だよりのクリニック」でした。

研修内容としては第



1部では読まれる議会だよりの編集ポイント、表現ポイントなど詳しく講義していただき今後、議会だよりに求められるものとしての変化を教えて頂きました。第2部でのクリニックでは当町他4町村の議会だよりのクリニックしていただき、改善点など指摘して頂きました。この研修を通じて広報誌面作りに生かしたいと思えます。

(宮村尚哉)

千葉県多古町交流都市視察訪問 ふるさと多古町あじさい祭

総務・文教常任委員会は、平成30年6月9日、10日の2日間、千葉県多古町を訪問し、多古町魅力発信交流館やあじさい祭り、道の駅などを視察・研修して参りました。最初に訪問した多古町魅力発信交流館は、町内外への情報発信と老若男女の交流を目的に旧保育所をリフォームしており、館内には、文化財展示による情報発信スペースや子育て交流室、調理室などがあり安価で利用できるようになっている。施設の管理



は町内のNPO法人に委託しており、雇用の場の確保にも繋がっている。現在は、町内の利用者がほとんどであるため道の駅などからの観光客の誘導対策が課題とのことでした。

2日目は、あじさい祭りに参加して参りました。会場のあじさい公園は、町の中心を流れる栗山川の両岸に1万株のあじさいが植えられ、芝生も管理された美しい公園でした。舞台では、特産の多古米奉納式典が行われる中、田子町の紹介や大玉ニンニクの贈呈も行われました。参加者全てが江戸時代の衣装を身にまとった舞台演出と中学生を中心とした町民ボランティアはとも印象的でした。今後の町行事の参考となる視察となりました。

(日沢一雄)

町の方から ひと言インタビュー

町の方から、定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。今後とも、田子町議会をよろしく願います。

力強い田子町



青森県信用組合田子支店
支店長
竹林 隆寛 さん (56)

① ご挨拶

田子町は初めての勤務地でしたが、以前から幾度となくイベント（にんにくとべごまつり等）で訪れることがあったものの、地理的にも全域を熟知しておらず、これから徐々に皆様と親交を図りたいと思っております。私の趣味は近隣の里山を登山することが楽しみです。青森県内及び岩手県のお山々（名久井岳、姫神山など）を散策しておりますが、田子町も自然豊かな土地柄で、収穫された農産物については田子町のブランド商品として広く熟知されていることが町の一番の強みと感じております。

② 赴任前の田子町の印象は？

田子町と言えれば何といってもにんにくを思い浮かべますが、ブランド商品として広く新聞、テレビ等のメディアを通してPRしていることや芸能人も度々訪れ、町の活性化を図っていることから、以前から県南の市町村の中でも特に元気な町という印象を持ってお

りました。

③ 田子町に赴任してみてどうですか？

田子町の経済についてですが、農業ではにんにく生産者に限らず、県内随一の良質な葉たばこを収穫する生産者、畜産業では牛の飼育農家やブロイラー飼育業者、森林資源が豊富な林業及び商工業者の方々など、多業種に亘り地域経済を支えていることを実感しております。また、田子町の活性化に向けた取り組みを行政と生産者等が官民一体となって「町おこし」を進めていることに感心致しました。

④ 田子町でやってみたいことは？

今後、益々青森県全体としても人口減少が見込まれている中、現在の田子町の人口は5600人程度と伺っております。歯止めをかけるために様々な工夫を凝らし、地域活性化を図っておりますが、私たち「けんしんよう」も基本方針であるお客様との相互扶助の精神を忘れずに地域の一助を担うコミュニケーションバンクとして今後もお手伝いできればと考えております。

⑤ 要望はありますか？

地域金融機関として田子町の活性化事業については、資金調達等の面から「産・学・官」に金を含めた連携が必要と感じており、是非ご相談いただければと思います。

編集後記

暑い日が続いております。甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害では多くの人が被災されました。衷心よりお見舞い申し上げます。

今年上半期の話題は何と言っても田子存続に向けた町の取り組みに尽きるのではないのでしょうか。我々議会も日沢総務・文教常任委員長を筆頭に保護者懇談会等での意見集約を存続に向けた多種多様なアイデアを交換し、何としても来年の高校入学者数を定員40名の半分にまで押し上げる為にその英知を結集させております。統廃合が危惧されている高校に進学する子、させる親はいないはずですが。ここは町がいち早くその指針を明示する必要があると思います。余多の助成制度は県内県立高校随一であってもその先のビジョンが明白でなくてはなりません。町長の英断が待たれるところです。

宇藤大介

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会 (第96号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 砂子田康雄

日沢 一雄

尾形 憲男

執筆協力

沢口 博二

欠端 則夫

竹林 隆寛